

女性の経済活動小委員会 活動報告

「女性の活躍による経済社会の活性化」は、第3次男女共同参画基本計画において改めて強調している視点であること、また「2010 APEC 女性リーダーズネットワーク（WLN）会合」（平成22年9月開催）においてAPEC首脳等に向けて、①女性のキャリア構築、②女性による起業、③女性のための新たな経済機会の創出を柱とした女性と経済活動に関する提言が採択され、APEC首脳宣言、成長戦略、閣僚共同声明に反映されたこと等をふまえ、平成23年3月より、以下のとおり、実施した。

1. 小委員会（3回）

【第1回】（23.3.23）

初顔合わせ、自己紹介、今後の活動について

【第2回】（23.7.7）

2011WES/PPWE、委員（団体）の取組報告、質疑応答等

【第3回】（24.1.16）

2011WES/PPWE（報告）、WEPs、委員（団体）の取組報告、2.24シンポ、質疑応答等

2. APEC 女性と経済サミット及び経済活動における女性のエンパワーメントについて聞く会（23.12.1開催）

平成23年9月にサンフランシスコで開催された「APEC女性と経済サミット（WES）」の成果及び女性のエンパワーメント原則（WEPs）を踏まえ、今後の女性の経済活動におけるエンパワーメントについて考察した。

【第1部「APEC女性と経済サミット（WES）について」】

- （1）WES 報告会
- （2）WES 民間参加者によるパネルディスカッション「経済活動における女性のエンパワーメント」

【第2部「経済活動における女性のエンパワーメントのための施策等について」】

- （1）WEPsの7つの原則と意義（GC-JN）
- （2）諸外国における女性のエンパワーメントの取組
- （3）女性の活躍による経済社会の活性化に関する我が国の取組

3. シンポジウム「女性の経済活動を通じた地域経済活動の活性化」（24.2.24開催）

女性の経済活動を通して、地域経済をどのように活性化できるのかについて理解を深めるために開催した（添付参照）。

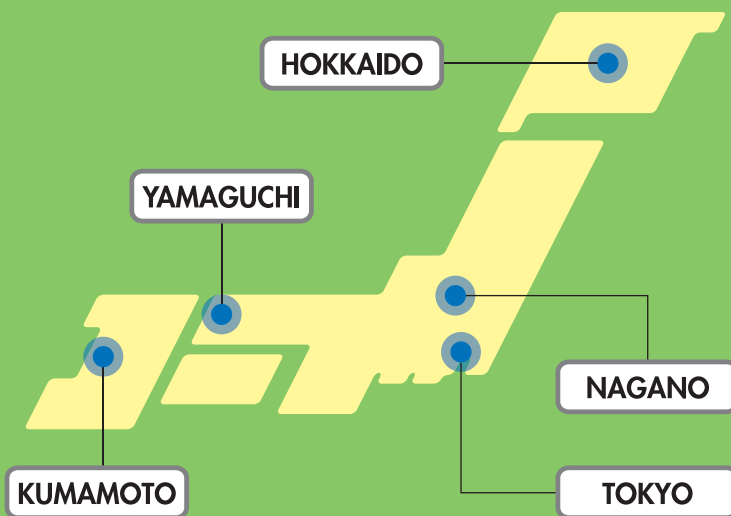
【参加者数（申込者数）】約200人

【参加者からの主なコメント】

- ・日本経済復興のカギは女性就労の促進だと思う。社会システムを変えてほしい。
- ・行動力のあるパネリストの話聞き、将来の発展のためには女性の発想力がキーポイントになると思った。

女性の経済活動小委員会によるシンポジウム

女性の経済活動を通じた 地域経済活動の活性化



日時：2012年2月24日(金) 13:30~16:00

会場：日本学術会議 講堂

主催：内閣府、男女共同参画推進連携会議「女性の経済活動小委員会」

基調講演 (13:35~14:35)



もたにこうすけ

藻谷 浩介 氏

(株)日本総合研究所 調査部 主席研究員

(株)日本政策投資銀行 地域企画部 特任顧問

NPO法人 地域経営支援ネットワーク 理事長

山口県出身。東大法学部卒業後、日本開発銀行、米国コロンビア大学ビジネススクール留学、日本経済研究所などを経て、2008年頃より地域振興の各分野で精力的に研究・著作・講演を行う。平成合併前3,200市町村の99.9%、海外59ヵ国を訪問し、地域特性を多面的に把握。2012年より現職。公職多数。近著「デフレの正体」はベストセラー。

パネルディスカッション (14:35~16:00)



パネリスト

セーラ・マリ・カミグス 氏

株式会社文化事業部
代表取締役
株式会社榎一市村酒造場
代表取締役

ペンシルベニア州出身。1993年ペンシルベニア州立大学卒業後来日、長野オリンピックの準備に関わる。1994年(株)小布施堂入社。1996年利酒師認定。1997年から榎一市村酒造場の再構築に取り組み、1998年にレストラン蔵部をオープン、2000年木桶仕込みを復活、2001年から「小布施ッション」という文化サロンをスタート。「日経ウーマンオブザイヤー2002」大賞受賞。2004年に(株)文化事業部設立、代表取締役就任。(株)修景事業設立、取締役就任。古民家再生に力を注ぐ。2006年、(株)榎一市村酒造場代表取締役就任。



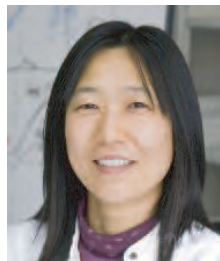
パネリスト

さかもと けいこ

阪本 恵子 氏

株式会社ビッグバイオ
代表取締役

1972年NTTに入社。子育て中に子供にとっての自然環境に疑問を持ち、微生物を利用した水質浄化用のブロックの開発。2000年には地元の熊本で有限会社ビッグバイオ(現株式会社)を設立し、代表取締役就任。これまで女性起業家として創業ベンチャー国民フォーラム起業家部門特別賞、日本商工会議所女性会連合会女性起業家大賞最優秀賞等を受賞。また『ガイアの夜明け』で中国水の危機を救え～海を渡る日本のエコ技術、『報道ステーション』世界に誇る“技術”と“発想”、『夢の扉』など環境関連の番組で多く取り上げられている。2010年の上海万博の日本館に採用。



パネリスト

ひおき まさよ

日置 真世 氏

北海道から地域づくりを創造・
発信する場づくり師

長女の障がいきっかけとして1994年に親の会活動と出会う。2000年にNPO法人地域生活支援ネットワークサロンを立ち上げ、子どもや障がい児者に関する地域課題に当事者が主役となって取り組む場をつくるコミュニティワークを軸に子ども家庭支援、障がい児者の支援、就労困難な若者の居場所など多種多様な事業の企画・コーディネート役として従事。2008年5月～2011年3月まで北大で実践の蓄積を理論化する研究活動を経て、2011年4月からは特定の所属から離れフリーで「北海道から地域づくりを創造・発信する場づくり師」として全国の生活当事者による地域づくりの応援のために活動中。



コーディネーター

たかはし しゅんすけ

高橋 俊介 氏

慶應義塾大学大学院政策・
メディア研究科特任教授

1978年東京大学工学部航空学科卒業後、日本国有鉄道に入社。その後米国プリンストン大学工学部修士課程を修了し、マッキンゼーアンドカンパニー東京事務所を経て日本法人ワイアット(株)代表取締役社長に就任。退任後、個人事務所ピープルファクターコンサルティングを通じて、コンサルティングや企業の人材育成支援等を行う。2000年5月から慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授として、個人主導のキャリア開発や組織の人材育成についての研究に従事。2011年11月より現職。人事マネジメントやキャリア等に関する著書多数。

女性の経済活動小委員会 委員名簿

(有識者議員)

明治大学情報コミュニケーション学部教授	牛尾 奈緒美
株式会社東芝相談役	岡村 正
株式会社青森経営研究所代表取締役社長	北村 真夕美
リコーITソリューションズ株式会社取締役会長執行役員	國井 秀子
PFC代表	高橋 俊介
株式会社コラボラボ代表取締役	横田 響子

(団体推薦議員)

社団法人関東ニュービジネス協議会理事・政策委員会副委員長	平井 由紀子
公益社団法人経済同友会常務理事	伊藤 清彦
国際ゾンタ 26 地区ガバナー	上田 トクエ
NPO法人J-Winネットワーク事業担当部長	宿谷 昇司
全国商工会連合会専務理事	寺田 範雄
全国女性税理士連盟会長	吉栖 照美
全国中小企業団体中央会専務理事	眞鍋 隆
中小企業家同友会全国協議会女性部連絡会代表	糸数 久美子
日本商工会議所・全国商工会議所女性会連合会会長	吉川 稲美
日本汎太平洋東南アジア婦人協会会長	鹿野 和子
日本BPW連合会理事長	松原 敏美
日本労働組合総連合会副事務局長	高橋 睦子
社団法人農山漁村女性・生活活動支援協会専務理事	齋藤 京子